

## 第5回公安委員会定例会開催状況

### 1 開催日時

令和6年2月22日（木）13時30分～16時00分

### 2 決裁事項

#### (1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

#### (2) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

#### (3) 訴訟手続の瑕疵の発覚及び治癒

警察本部から、訴訟手続の瑕疵の発覚及び治癒について報告を受け、決裁した。

#### (4) 公安委員会規則の一部改正

警察本部から、公安委員会規則の一部改正について報告を受け、決裁した。

#### (5) 特定抗争指定暴力団等の指定期限の延長

警察本部から、特定抗争指定暴力団等の指定期限の延長について報告を受け、決裁した。

#### (6) 警察職員の援助要求の取り下げ

警察本部から、警察職員の援助要求の取り下げについて報告を受け、決裁した。

### 3 報告事項

#### (1) 犯罪抑止総合対策推進状況（令和6年1月末）

警察本部から、

- 本年1月末の刑法犯認知件数は645件で、前年同期比6件、0.9%の増加である。
- 「刑法犯の割合」は窃盗犯が462件、全体の約7割を占め、多い順では自転車盗、万引き、車上ねらいであるが、1月中の特徴は万引きや空き巣等の手口が増加した一方で、自転車盗やオートバイ盗、車上ねらい等の手口が減少した。
- 前年同期比が微増となった要因として、万引きの認知件数が前年同期比で40件増加したことがあげられる。
- 「特殊詐欺認知状況」は、本年1月末現在で8件認知しており、前年同期比5件減少、被害額は約7,390万円で、前年同期比約1,330万円の増加となっているが、1月中の特徴として、投資名目の金融商品詐欺を複数認知している。
- 投資名目による特殊詐欺被害は、昨年12月末頃から増加傾向であったため、チラシ

やX（旧ツイッター）等を活用して、広く手口の周知と注意喚起を呼び掛けている。旨の報告を受けた。

委員が、

「自転車盗や空き巣の被害状況をみると、施錠をしていた場合よりも、無施錠だった場合の方が圧倒的に多いので、引き続き、鍵を掛けることの重要性をしっかりと啓発していただきたい。」

旨を発言した。

(2) 重要事件認知・検挙状況（1月中）

警察本部から、

- 1月中は、重要事件を6件認知し、放火事件や不同意わいせつ事件等6件を検挙した。
- 前年同期との比較は、1月末現在で認知件数は8件減少、検挙件数は7件減少しており、検挙率は100%、+7.1ポイントで推移している。

旨の報告を受けた。

委員が、

「重要事件の認知件数が減少していることは、非常に良い傾向であるが、これまで行ってきた啓蒙活動や社会的な取組が成果につながったものと思われる。

検挙についても、引き続き、高い検挙率の水準を維持していただきたい。」

旨を発言した。

(3) 人事評価に関する報告

警察本部から、人事評価に関する報告を受けた。

(4) 行政訴訟控訴事件の判決結果

警察本部から、行政訴訟控訴事件の判決結果について報告を受けた。

(5) 駐車監視員活動ガイドラインの見直し

警察本部から、駐車監視員活動ガイドラインの見直しについて報告を受けた。

(6) 2.11日本原現地闘争に伴う警備実施結果

警察本部から、2.11日本原現地闘争に伴う警備実施結果について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和6年2月29日（木）13時30分から開催予定